

第 7 章 調査票

## 乳幼児の事故やけがなどに関する調査へのご協力をお願い

かねてから、鹿児島市政にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

本市では、今年度から、世界保健機関（WHO）が推進している「セーフコミュニティ」に取り組むこととしております。

「セーフコミュニティ」とは、安心安全に生活できるまちづくりのために、市民、関係団体そして行政が協働して事故やけがの防止に取り組む活動を行っている自治体をWHO関連機関が認証する制度です。

今回の調査は、事故やけがの防止対策に役立てるために、乳幼児の事故やけがの実態に関し調査するもので、本市にお住まいの乳幼児がいらっしゃる世帯の中から2,000人の方を無作為に選び、調査票をお送りしております。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査主旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

※ この調査結果は、セーフコミュニティの推進に関する以外の目的では一切利用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、お願いします。

### ● 調査票の記入について

- 1 裏面のセーフコミュニティについての説明を読まれてからご回答ください。
- 2 調査対象にしているお子さんの保護者の方がご回答ください。
- 3 特別の注意書きがない限り、平成24年8月1日（水）現在でご回答ください。
- 4 特別の注意書きがない限り、回答欄中のあてはまる番号を○で囲んでください。また、かっこ内には適切な言葉をご記入ください。
- 5 ご回答後の調査票は、お手数ですが平成24年9月10日（月）までに、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函くださいますようお願いいたします。
- 6 本調査に関してご不明な点などございましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

お問合せ先

〒892-8677

鹿児島市山下町11-1 鹿児島市 市民局 危機管理部 安心安全課

電話216-1209 FAX226-0748



※裏面をご回答前にお読みください

## 乳幼児の事故やけがなどに関する調査

あてはまる番号に○をつけてください。カッコ内には適切な言葉をご記入ください。

## 1 ご家族やお住まいのことについて

問1 あなた（保護者）のご家族についてお聞きします。

(1) 対象（封書の宛名） のお子さん ※24年8月1日現在	性別 ①男 ②女 年齢 ( ) 歳 ( ) か月
(2) 家族の人数 ※回答者も含む	①2人 ②3人 ③4人 ④5人 ⑤その他 ( ) 人
(3) お子さんの人数 ※20歳未満の人数 ※対象（封書の宛名） のお子さんを含む	乳幼児 ( ) 人 小学生以上 ( ) 人 ※乳幼児：0歳～6歳までの未就学児

問2 あなた（保護者）のお住まいについてお聞きします。

(1) 現住所地	( ) 例) 山下町、谷山中央4丁目
(2) 小学校区	① ( ) 校区 ② 分からない
(3) 住居の形態	① 独立家屋 ( ) 階建 ② 集合住宅 ( ) 階建 ( ) 階 ③ その他 ( )

## 2 セーフコミュニティについて

問3 セーフコミュニティは、「事故やけがなどは偶然の結果ではなく、未然に防ぐことができる」という理念に基づいた安全向上の取組です。あなた（保護者）は、この考えについてどう思いますか。（ひとつに○）

（※セーフコミュニティについては、別添の協力のお願いの裏面をご覧ください。）

- ①賛同する      ②賛同しない      ③分からない



3 不慮の事故について

問4 不慮の事故とは、交通事故、転倒、転落、おぼれた、やけど、窒息、中毒などをいいますが、一緒に住んでいるお子さんに対し、特に注意している不慮の事故は何ですか。(3つまで○)

- ①交通事故      ②転倒      ③転落      ④おぼれた  
⑤やけど      ⑥窒息      ⑦中毒      ⑧その他 (                      )

4 対象(封筒の宛名)のお子さんのこの1年間(平成23年8月～平成24年7月)の「事故やけが」の状況についてお聞きします。この場合の「事故やけが」とは、不慮の事故によるけがなどを指します。

問5 対象のお子さんが、この1年間にもう少して「事故やけが」に遭いそうになりヒヤリとしたことはありますか。(ひとつに○)

- ①ある → 問5-1、2ご回答後、問6へ  
②ない → 問6へ

問5で『①ある』とご回答された方にお聞きします。

問5-1 この1年間に対象のお子さんで、ヒヤリとしたことは、どのくらいの頻度ありますか。(一番近いものひとつに○)

- ①毎日5回以上      ②毎日5回未満      ③2、3日に数回  
④1～2週間に数回      ⑤1か月に数回      ⑥その他 (                      )

問5-2 この1年間に対象のお子さんで、一番多くヒヤリとした体験は何ですか。(ひとつに○)

- ①交通事故      ②転倒      ③転落      ④おぼれた  
⑤やけど      ⑥窒息      ⑦中毒      ⑧その他 (                      )

問6 対象のお子さんは、この1年間に「事故やけが」の経験がありますか。(ひとつに○)

- ①ある → 問7ご回答後、問8へ  
②ない → 問8へ



問6で『①ある』とご回答された方にお聞きします。(『②ない』とご回答された方は問8へ)

問7 対象のお子さんのこの1年間(平成23年8月～平成24年7月)にあった事故やけがについて、ア：場所、イ：種類、ウ：医療機関の受診の状況、エ：その事故やけがを未然に防ぐことができた可能性を、それぞれ1つずつ、該当する番号でご回答ください。事故やけがの経験が複数ある場合は、最大2件までご回答ください。

(例) ベッドから落ちて頭を打ったため、病院に行き、しばらく通院した。その後転落防止のため、  
 →ア① →イ③ →ウ③ →エ①  
ベッドに転落防止柵を設置した。

	(例)	1件目	2件目
<b>ア 事故やけがをした場所</b> ①自宅(屋内)                      ⑥海・川・湖・池 ②自宅の庭など(屋外)            ⑦商業・飲食・娯楽施設 ③歩道・道路                      ⑧保育園・幼稚園・その他通園施設 ④公園・広場                      ⑨公共の場所(市の施設など) ⑤車・電車・バスなどの中      ⑩その他( )	①		
<b>イ 事故やけがの種類</b> ①交通事故                      ⑩人や物との接触 ②転倒                              ⑪ハサミなどの鋭利なものでのけが ③転落                              ⑫虫にさされた、動物にかまれた ④おぼれた                      ⑬物の落下 ⑤やけど(熱湯、アイロンなど) ⑭その他( ) ⑥異物などの誤飲(たばこの吸殻など) ⑦窒息(のどに食べ物をつまらせたなど) ⑧中毒(洗剤を飲み込んだ、煙を吸ったなど) ⑨ドアなどに挟まった	③		
<b>ウ 医療機関の受診</b> ①家庭などの手当てで済んだ ②医療機関に1回通院した ③医療機関に2回以上通院した(している) ④医療機関に入院した(している) ⑤その他( )	③		
<b>エ 未然に防ぐことができた可能性</b> ①防ぐことができた ②防ぐことはできなかった ③わからない	①		



**問7の『イ 事故やけがの種類』で③転落とご回答された方にお聞きします。**

(※問7で1件目と2件目のどちらも『イ 事故やけがの種類』を③転落とご回答された場合は、1件目のものについてご回答ください。)

問7-4 転落の原因 (ひとつに○)

- ①ベッド、椅子、ソファから落ちた
- ②階段から落ちた
- ③ベランダ、屋上から落ちた
- ④抱き上げていて落としてしまった
- ⑤遊具 (ジャングルジムなど) で遊んでいて落ちた
- ⑥川や海などに落ちた
- ⑦その他 ( )

**問7の『イ 事故やけがの種類』で④おぼれたとご回答された方にお聞きします。**

(※問7で1件目と2件目のどちらも『イ 事故やけがの種類』を④おぼれたとご回答された場合は、1件目のものについてご回答ください。)

問7-5 おぼれた場所 (ひとつに○)

- ①お風呂場
- ②プール (子ども用プールを含む)
- ③海・川・湖・池
- ④その他 ( )

**問7の『イ 事故やけがの種類』で⑤やけどとご回答された方にお聞きします。**

(※問7で1件目と2件目のどちらも『イ 事故やけがの種類』を⑤やけどとご回答された場合は、1件目のものについてご回答ください。)

問7-6 やけどの原因 (ひとつに○)

- ①お風呂の湯・シャワー
- ②やかん・ポット
- ③花火
- ④暖房機 (ストーブなど)
- ⑤その他 ( )



問8 お子さんの事故やけがの予防に関する情報は、なに(どこ)から得ていますか。また、お子さんの事故やけがの予防のために、より充実して欲しいと思うものは、なに(どこ)ですか。(3つまで○)

項 目	3つまで○	3つまで○
	現在、得ている	充実して欲しい
①家族・親戚		
②友人・知人		
③子育てサークルなど		
④テレビ・ラジオ		
⑤育児雑誌		
⑥インターネット (SNSを含む)		
⑦子育て教室・講座		
⑧保育園・幼稚園		
⑨保健所		
⑩病院		
⑪子育て支援施設 (りぼんかん・なかまっちなど)		
⑫その他 ( )		

問9 あなた(保護者)は、日頃からどのような子どもの安全対策をとっていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

	あてはまる
①車に乗る際にチャイルドシートを使用する	
②自転車に乗る際にヘルメットを着用させる	
③道路を歩行する際、手つなぎやだっこをする	
④よく体をぶつけてしまう家具などの角にカバーをしている	
⑤たんす、食器棚、冷蔵庫の扉が開かないように安全グッズを設置している	
⑥ドアやとびらに手を挟まないように安全グッズを設置している	
⑦窓や扉から飛び出さないように安全グッズを設置している	
⑧階段に転落防止柵を設置している (昇らないような防止柵も含む)	
⑨ベッドに転落防止柵を設置している	
⑩ベランダから身をのりださないように台座などは置かないようにしている	
⑪トイレの中に落ちないようにする子ども用の便座やふたをしている	
⑫浴槽ですべて濡れないようにすべり止めを設置している	
⑬浴槽の水は残さないようにしている	
⑭ライター、刃物など危ないものは、子どもの手の届かないところに置いてい	
⑮たばこを放置しない	
⑯かかりつけの医療機関や緊急時の連絡先が分かるようにしている	
⑰その他 ( )	

問10 あなた(保護者)の子どもの安全に関する考え方についてお聞きします。

問10-1 子どものけがについて(ひとつに○)

- ①子どもは小さいうちはけがをするものだ(ある程度のけがは仕方がない)
- ②大人や社会が環境を整えて、子どもには小さなけがもさせない方がいい

問10-2 子どもの安全について(ひとつに○)

- ①子どもの安全は、家庭が責任を持って確保すべきだ
- ②子どもの安全は、家庭だけでなく地域も一体となって取り組むべきだ
- ③その他 ( )





## 小学生・中学生の事故やけがなどに関する調査へのご協力のお願い

かねてから、鹿児島市政にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

本市では、今年度から、世界保健機関（WHO）が推進している「セーフコミュニティ」に取り組むこととしております。

「セーフコミュニティ」とは、安心安全に生活できるまちづくりのために、市民、関係団体そして行政が協働して事故やけがの防止に取り組む活動を行っている自治体をWHO関連機関が認証する制度です。

今回の調査は、事故やけがの防止対策に役立てるために、小学生・中学生の事故やけがの実態に関し調査するもので、本市にお住まいの小学生・中学生がいらっしゃる世帯の中から2,000人の方を無作為に選び、調査票をお送りしております。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査主旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

※ この調査結果は、セーフコミュニティの推進に関する以外の目的では一切利用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、お願いします。

### ● 調査票の記入について

- 1 裏面のセーフコミュニティについての説明を読まれてからご回答ください。
- 2 調査対象にしているお子さんと一緒に保護者の方がご回答ください。
- 3 特別の注意書きがない限り、平成24年8月1日（水）現在でご回答ください。
- 4 特別の注意書きがない限り、回答欄中のあてはまる番号を○で囲んでください。また、かっこ内には適切な言葉をご記入ください。
- 5 ご回答後の調査票は、お手数ですが平成24年9月10日（月）までに、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函くださいますようお願いいたします。
- 6 本調査に関してご不明な点などございましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

お問合せ先

〒892-8677

鹿児島市山下町11-1 鹿児島市 市民局 危機管理部 安心安全課

電話216-1209 FAX226-0748



※裏面をご回答前にお読みください

小学生・中学生の事故やけがなどに関する調査

あてはまる番号に○をつけてください。カッコ内には適切な言葉をご記入ください。

1 ご家族やお住まいのことについて

問1 あなた(保護者)のご家族についてお聞きします。

(1) 対象(封書の宛名) のお子さん ※24年8月1日現在	性別	①男	②女		
	年齢	( ) 歳			
	学年	①小学1年生	④小学4年生	⑦中学1年生	
		②小学2年生	⑤小学5年生	⑧中学2年生	
③小学3年生		⑥小学6年生	⑨中学3年生		
(2) 家族の人数 ※回答者も含む	①2人	②3人	③4人	④5人	⑤その他( )人
(3) お子さんの人数 ※20歳未満の人数 ※対象(封書の宛名) のお子さんを含む	小学生	( ) 人			
	中学生	( ) 人			
	小・中学生以外	( ) 人			

問2 あなた(保護者)のお住まいについてお聞きします。

(1) 現住所地	( ) 例) 山下町、谷山中央4丁目
(2) 小学校区	① ( ) 校区      ② 分からない
(3) 住居の形態	① 独立家屋 ( ) 階建
	② 集合住宅 ( ) 階建 ( ) 階
	③ その他 ( )

**2 セーフコミュニティについて**

問3 セーフコミュニティは、「事故やけがなどは偶然の結果ではなく、未然に防ぐことができる」という理念に基づいた安全向上の取組です。あなた（保護者）は、この考えについてどう思いますか。（ひとつに○）

（※セーフコミュニティについては、別添の協力のお願いの裏面をご覧ください。）

- ①賛同する            ②賛同しない            ③分からない

**3 不慮の事故について**

問4 不慮の事故とは、交通事故、転倒、転落、おぼれた、やけど、窒息、中毒などをいいますが、対象（封筒の宛名）のお子さん対し、特に注意している不慮の事故は何ですか。

（3つまで○）

- ①交通事故            ②転倒            ③転落            ④おぼれた  
⑤やけど            ⑥窒息            ⑦中毒            ⑧その他（            ）

4 対象(封筒の宛名)のお子さんのこの1年間(平成23年8月～平成24年7月)の「事故やけが」の状況についてお聞きします。この場合の「事故やけが」とは、不慮の事故によるけがなどを指します。

**問5から問10までは、保護者の方が対象のお子さんと一緒に、問11からは、保護者の方がご回答ください。**

問5 対象のお子さんが、この1年間に次の事故やけがに遭いそうになりヒヤリとしたことはありますか。(ひとつに○)

交通事故	①ある → 何をしているときですか → 何でヒヤリとしましたか ①歩行中 ②自転車に乗っていて ③車に乗っていて ④その他 ( )	①車・バイクにぶつかりそうになった ②自転車にぶつかりそうになった ③歩行者にぶつかりそうになった ④看板・電柱にぶつかりそうになった ⑤転倒しそうになった ⑥すべりそうになった ⑦その他 ( )
転倒	①ある → ヒヤリとした原因は何でしたか ①段差、ものに足をひっかけた ②ない ②友だちなどに押された ③手をひっぱられた(犬の散歩など) ④すべりそうになった ⑤人や物との接触 ⑥その他 ( )	
やけど	①ある → ヒヤリとした原因は何でしたか ①お風呂の湯・シャワー ②ない ②やかん・ポット ③花火 ④暖房機(ストーブなど) ⑤その他 ( )	

問6 対象のお子さんは、この1年間に「事故やけが」の経験がありますか。(ひとつに○)

①ある → 問7ご回答後、問8へ

②ない → 問8へ





	(例)	1 件目	2 件目
<b>エ けがの状態</b> ①骨折・ひび ②ねんざ・脱臼・突き指 ③打撲・うちみ ④きり傷・さし傷・すり傷 ⑤やけど ⑥さされ傷・かまれ傷 ⑦その他 ( )	①		
<b>オ 医療機関の受診</b> ①家庭や学校などの手当で済んだ ②医療機関に1回通院した ③医療機関に2回以上通院した(している) ④医療機関に入院した(している) ⑤その他 ( )	③		
<b>カ 未然に防ぐことができた可能性</b> ①防ぐことができた ②防ぐことはできなかった ③わからない	①		

問7の『ウ 事故やけがの種類』で『①交通事故』、『②転倒』、『③転落』、『④おぼれた』のいずれかにご回答された方にお聞きします。

問7の『ウ 事故やけがの種類』で①交通事故とご回答された方にお聞きします。

(※問7で1件目と2件目のどちらも『ウ 事故やけがの種類』を①交通事故とご回答された場合は、1件目のものについてご回答ください。)

問7-1 交通事故時の対象のお子さんの状況 (ひとつに○)

- ①歩行中
- ②自転車に乗っていた(保護者などが運転)
- ③自転車に乗っていた(自分で運転)
- ④車に乗っていた
- ⑤その他 ( )



## 問7-2 交通事故の原因（ひとつに○）

- ①自転車との接触  
②車・バイクとの接触  
③歩行者との接触  
④壁や電柱などとの接触  
⑤自分で転倒した  
⑥その他（ ）

問7の『ウ 事故やけがの種類』で②転倒とご回答された方にお聞きします。

（※問7で1件目と2件目のどちらも『ウ 事故やけがの種類』を②転倒とご回答された場合は、1件目のものについてご回答ください。）

## 問7-3 転倒の原因（ひとつに○）

- ①段差、ものに足をひっかけた  
②友だちなどに押された  
③手をひっぱられた（犬の散歩など）  
④すべった  
⑤人や物との接触  
⑥その他（ ）

問7の『ウ 事故やけがの種類』で③転落とご回答された方にお聞きします。

（※問7で1件目と2件目のどちらも『ウ 事故やけがの種類』を③転落とご回答された場合は、1件目のものについてご回答ください。）

## 問7-4 転落の原因（ひとつに○）

- ①ベッドから落ちた  
②階段から落ちた  
③ベランダ、屋上から落ちた  
④遊具（ジャングルジムなど）で遊んでいて落ちた  
⑤川や海などに落ちた  
⑥その他（ ）

問7の『ウ 事故やけがの種類』で④おぼれたとご回答された方にお聞きします。

(※問7で1件目と2件目のどちらも『ウ 事故やけがの種類』を④おぼれたとご回答された場合は、1件目のものについてご回答ください。)

問7-5 おぼれた場所

- ①お風呂場
- ②プール
- ③海、川、湖、池
- ④その他 ( )

問8 対象のお子さんは、いつもどのくらいの頻度で自転車に乗りますか。

(一番近いものひとつに○)

- ①ほぼ毎日 (週4日以上)
  - ②週に2~3日
  - ③週に1日
  - ④ほとんど乗らない
  - ⑤自転車には乗らない・乗れない
  - ⑥自転車はもっていない
- 問8-1、2ご回答後、問9へ
- 問9へ

問8で『①ほぼ毎日 (週4日以上) から④ほとんど乗らない』のいずれかにご回答された方にお聞きします。

問8-1 対象のお子さんは、自転車に乗るとき、ヘルメットをつけていますか。

(ひとつに○)

- ①いつもつけている
- ②時々つけている
- ③あまりつけていない
- ④つけていない
- ⑤ヘルメットをもっていない



問 8 - 2 対象のお子さんは、ルールを守って自転車に乗っていますか。(ひとつに○)

- ①ルールを守っている
- ②たまにルールを守っていないことがある
- ③ルールを守っていない
- ④ルールを知らない

※ 自転車は、車のなかまでです。自転車にも守るべきルールがあります。傘さし運転、走行中の携帯電話、横に並んでの走行などは禁止されています。

問 9 対象のお子さんは、通学路や遊び場付近の「子ども 110 番の家」を知っていますか。(ひとつに○)

- ①知っている
- ②聞いたことはあるけど、どこにあるのか分からない
- ③知らない

※ 「子ども 110 番の家」とは、子どもが犯罪被害にあいそうになったときなどに、助けを求めることができるように

- 犯人（又は不審者）から逃れるための緊急避難場所
- 警察への通報場所

として利用できる、通学路や公園の周辺にある商店や民家などの施設です。

問 10 対象のお子さんは、「いかのおすし」を知っていますか。(ひとつに○)

- ①知っている
- ②聞いたことはあるが、内容は知らない
- ③知らない

※ 「いかのおすし」とは、子どもを犯罪被害から守るための防犯標語です。

いか 知らない人について行か（いか）ない  
 の 知らない人の車に乗（の）らない  
 お 「助けて！」と大（お）声で叫ぶ  
 す 大人のところへす（す）ぐににげる  
 し どんな人が何をしたか家の人に知（し）らせる

問 11 あなた(保護者)は、お子さんが安全に生活するために注意してきたことはありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

	あてはまるもの すべてに○
①道路に飛び出さないよう注意している	
②交通ルールを教えている	
③自転車に乗る際には、ヘルメットをかぶらせている	
④車に乗る際には、シートベルトを着用するよう注意している	
⑤ブランコや滑り台、鉄棒などの遊具の遊び方を教えている	
⑥マッチやライターで火遊びをしないよう注意している	
⑦はさみなどの道具の正しい使い方を教えている	
⑧暗い道をひとりで歩かないようにさせている	
⑨学校の様子を聞くようにしている	
⑩水の事故について教えている	
⑪友だちと仲良くするように教えている	
⑫その他 ( )	

問 12 あなた(保護者)の子どもの安全に関する考え方についてお聞きします。

問 12-1 子どものけがについて (ひとつに○)

- ①子どもは、けがをするものだ(ある程度のけがは仕方がない)
- ②大人や社会が環境を整えて、子どもには小さなけがもさせない方がいい

問 12-2 子どもの安全について (ひとつに○)

- ①子どもの安全は、家庭が責任を持って確保すべきだ
- ②子どもの安全は、家庭だけでなく地域も一体となって取り組むべきだ
- ③子どもの安全は、(誰よりも)行政が責任を持つべきだ
- ④その他 ( )





## 鹿児島市民の事故やけがなどに関する調査へのご協力をお願い

かねてから、鹿児島市政にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

本市では、今年度から、世界保健機関（WHO）が推進している「セーフコミュニティ」に取り組むこととしております。

「セーフコミュニティ」とは、安心安全に生活できるまちづくりのために、市民、関係団体そして行政が協働して事故やけがの防止に取り組む活動を行っている自治体をWHO関連機関が認証する制度です。

今回の調査は、事故やけがの防止対策に役立てるために、市民の事故やけがの実態に関し調査するもので、本市にお住まいの16歳から64歳までの方の中から2,000人の方を無作為に選び、調査票をお送りしております。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査主旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

※ この調査結果は、セーフコミュニティの推進に関する以外の目的では一切利用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、お願いします。

### ● 調査票の記入について

- 1 裏面のセーフコミュニティについての説明を読まれてからご回答ください。
- 2 調査対象としている方がご回答ください。（ご本人様にご回答できない場合は、ご家族の方などが、可能な範囲で聞き取り等を行いご回答ください。）
- 3 特別の注意書きがない限り、平成24年8月1日（水）現在でご回答ください。
- 4 特別の注意書きがない限り、回答欄中のあてはまる番号を○で囲んでください。また、かっこ内には適切な言葉をご記入ください。
- 5 ご回答後の調査票は、お手数ですが平成24年9月10日（月）までに、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函くださいますようお願いいたします。
- 6 本調査に関してご不明な点などございましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

お問合せ先

〒892-8677

鹿児島市山下町11-1 鹿児島市 市民局 危機管理部 安心安全課

電話216-1209 FAX226-0748



※裏面をご回答前にお読みください

## 鹿児島市民の事故やけがなどに関する調査

あてはまる番号に○をつけてください。カッコ内には適切な言葉をご記入ください。

## 1 性別、年齢、就労状況などについて

問1 あなたの性別などについてお聞きします。

(1) 対象（封書の宛名） の方 ※24年8月1日現在	性別	①男	②女
	年齢	（ ）歳	
	就労状況	①就労している	③学生
		②就労していない	④その他（ ）

問2 あなたのお住まいについてお聞きします。

(1) 現住所地	（ ）例) 山下町、谷山中央4丁目		
(2) 小学校区	①（ ）校区	② 分からない	
(3) 住居の形態	① 独立家屋（ ）階建		
	② 集合住宅（ ）階建	階)	
	③ その他（ ）		

## 2 セーフコミュニティについて

問3 セーフコミュニティは、「事故やけがなどは偶然の結果ではなく、未然に防ぐことができる」という理念に基づいた安全向上の取組です。あなたは、この考えについてどう思いますか。（ひとつに○）

（※セーフコミュニティについては、別添の協力のお願いの裏面をご覧ください。）

- ①賛同する      ②賛同しない      ③分からない





	(例)	1 件目	2 件目
<b>エ 事故やけがをしたときの状況</b> ①通勤 ②通学 ③仕事 ④授業（体育・部活・サークルを含む） ⑤家事（日用品の買い物を含む） ⑥スポーツ ⑦散歩 ⑧入浴 ⑨余暇活動（レジャー、ショッピング） ⑩ボランティアなどの奉仕活動 ⑪その他（ ）	①		
<b>オ 事故やけがをした場所</b> ①自宅（屋内）                      ⑧学校 ②自宅の庭など（屋外）            ⑨職場 ③歩道・道路                          ⑩農地、林地、山 ④公園・広場                          ⑪駐車場 ⑤車・電車・バスなどの中          ⑫公共の場所（市の施設など） ⑥海・川・湖・池                      ⑬その他（ ） ⑦商業・飲食・娯楽施設	③		
<b>カ 事故やけがの種類</b> ①交通事故                              ⑬物の落下 ②転倒                                    ⑭暴力（けんか）によるけが ③転落                                      ⑮その他（ ） ④おぼれた ⑤やけど（熱湯、アイロンなど） ⑥異物などの誤飲 ⑦窒息（のどに食べ物をつまらせたなど） ⑧中毒（洗剤を飲み込んだ、煙を吸ったなど） ⑨ドアなどに挟まった ⑩人や物との接触 ⑪ハサミなどの鋭利なものでのけが ⑫虫に刺された、動物に咬まれた	②		

	(例)	1 件目	2 件目
<b>キ けがの状況</b> ①骨折・ひび ②ねんざ・脱臼・突き指 ③打撲・うちみ ④切り傷・刺し傷・すり傷 ⑤やけど ⑥刺され傷・咬まれ傷 ⑦その他 ( )	①		
<b>ク 医療機関の受診</b> ①家庭・学校・職場などの手当てで済んだ ②医療機関に1回通院した ③医療機関に2回以上通院した(している) ④医療機関に入院した(している) ⑤その他 ( )	④		
<b>ケ 未然に防ぐことができた可能性</b> ①防ぐことができた ②防ぐことはできなかった ③分からない	①		
<b>コ 薬(風邪薬、鎮痛剤など)の服用状況</b> ①薬を飲んでいて ②薬は飲んでいない	②		
<b>サ 飲酒の有無</b> ①お酒を飲んでいて ②お酒は飲んでいない	②		

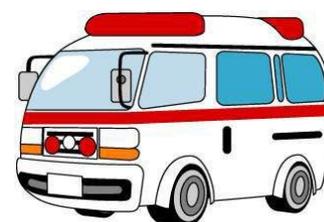
問5のクで『③医療機関に2回以上通院した（している）から⑤その他』のいずれかにご回答された方にお聞きします。

問5-1 医療機関にはどのくらい入院（通院）されました（されています）か。なお、問5で、1件目と2件目のどちらも『ク 医療機関の受診』を『③医療機関に2回以上通院した（している）から⑤その他』のいずれかにご回答された場合は、入院（通院）の期間が一番長かったものをご回答ください。（ひとつに○）

※退院後、通院した（している）方は、入院及び通院の両方についてご回答ください。

入院 ① 1か月未満 ③ 3か月～6か月未満 ⑤ 1年以上  
② 1か月～3か月未満 ④ 6か月～1年未満

通院 ① 1か月未満 ③ 3か月～6か月未満 ⑤ 1年以上  
② 1か月～3か月未満 ④ 6か月～1年未満



#### 4 家庭の安全対策に関する考え方について

問6 あなたの家庭の安全対策に関して、実践しているものをご回答ください。（あてはまるものすべてに○）

	あてはまる
①濡れた手でコンセントや電気コードを触らない	
②コンセントにはたこ足配線をしない	
③ガスの使用後には元栓などを閉めたか確認する	
④就寝・外出時には戸締まりをする	
⑤薬は正しく服用している	
⑥洗剤や薬などは指定の容器に入れて保管している	
⑦階段や玄関の周りには、転倒や落下の危険性がある物を置かない	
⑧階段や廊下、浴室などに手すりを設置している	
⑨階段にすべり止めを設置している	
⑩室内や廊下などで段差解消をしている	
⑪浴室の使用後は、水気が残らないように乾燥させている	
⑫危険な道具（はさみ、カッターなど）は決まった場所に置いている	
⑬床に物を置いたままにしない	
⑭すべりやすいスリッパなどは履かないようにしている	

⑮その他 ( )	
----------	--

問7 防災、防犯、事故防止などに関する情報を掲載した冊子「わが家の安心安全ガイドブック」を平成24年3月に各世帯に配付しておりますがご存知ですか。(ひとつに○)

- ①知っている → [問7-1 ご回答後、問8へ](#)
- ②知らない → [問8へ](#)

**問7で『①知っている』とご回答された方にお聞きします。**

問7-1 「わが家の安心安全ガイドブック」を活用していますか。(ひとつに○)

- ①活用している
- ②見てはいないが、すぐ確認できるところに保管している
- ③配付されたのは知っているが、見ていない
- ④活用していない
- ⑤その他 ( )

問8 あなたのご家庭では、災害に備えて、東日本大震災の前はどのような対策をとっていましたか。また、東日本大震災後は新たにどのような対策をとっていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

項 目	あてはまる ものすべてに○	あてはまる ものすべてに ○
	震災前	震災後
①家具などの固定		
②非常備蓄品（食品、水、毛布など）の用意		
③非常持ち出し品（懐中電灯、ラジオ、非常食、水など）の用意		
④避難経路・避難場所の確認		
⑤消火器・バケツの用意		
⑥住宅用火災警報器の設置		
⑦防災メール(安心ネットワーク119など)などの登録		
⑧自主防災活動に参加		
⑨災害時要援護者支援制度（要援護者・支援者）に登録		
⑩建物の耐震診断、耐震補強（へいの補強など）		
⑪家族同士の安否確認の方法（場所・連絡先）		
⑫その他 ( )		









自殺についてお聞きします。

問 15 あなたはこれまでに、自殺したい（死にたい）と思ったことがありますか。  
（ひとつに○）

- ①思ったことがある → 問 15-1、2、3 个回答後、問 16 へ  
②思ったことはない → 問 16 へ

問 15 で『①思ったことがある』とご回答された方にお聞きします。（『②思ったことはない』と回答された方は問 16 へ）

問 15-1 自殺したいと思ったときの一番の原因は何ですか。（ひとつに○）

- |          |                              |
|----------|------------------------------|
| ①家庭問題    | ⑤学校問題                        |
| ②健康問題    | ⑥勤務問題                        |
| ③経済・生活問題 | ⑦孤独感・近隣関係                    |
| ④男女問題    | ⑧その他（                      ） |

問 15-2 あなたは、自殺したいと思ったときにだれか（どこか）に相談しましたか。  
（あてはまるものすべてに○）

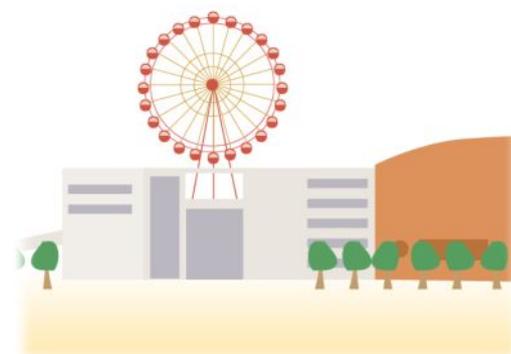
- |                     |                              |
|---------------------|------------------------------|
| ①配偶者                | ⑤学校                          |
| ②配偶者以外の家族           | ⑥職場                          |
| ③友人・知人              | ⑦相談していない                     |
| ④相談機関（市役所・いのちの電話など） | ⑧その他（                      ） |

問 15-3 あなたは、自殺したいと思った原因による精神的苦痛などのため、医療機関を受診したことがありますか。（ひとつに○）

- ①ある                      ②ない

問 16 自殺に関して相談ができる場所を知っていますか。（ひとつに○）

- ①知っている              ②知らない



問 17 自殺について知っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- ①鹿児島市では毎年約 100 人の方が自殺で亡くなっている
- ②自殺は追い込まれた末の死である
- ③自殺は防ぐことが出来る
- ④悩んでいる人はサインを発していることが多い
- ⑤自分のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関へ相談することは大切である
- ⑥身近な人のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関へ相談を勧めることは大切である
- ⑦自殺の危険性がある人に相談窓口や専門家などの支援に関する情報を提供することは大切である
- ⑧考えたことがない
- ⑨その他 ( )

問 18 事故やけがの予防に関しご意見、ご感想などありましたらご記入ください。

[ ]

質問は以上です。最後までご協力頂きましてありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手不要）に、この調査票を入れ **9月10日（月）**までに、郵便ポストに投函くださいますようお願いいたします。

## 高齢者の事故やけがなどに関する調査へのご協力をお願い

かねてから、鹿児島市政にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

本市では、今年度から、世界保健機関（WHO）が推進している「セーフコミュニティ」に取り組むこととしております。

「セーフコミュニティ」とは、安心安全に生活できるまちづくりのために、市民、関係団体そして行政が協働して事故やけがの防止に取り組む活動を行っている自治体をWHO関連機関が認証する制度です。

今回の調査は、事故やけがの防止対策に役立てるために、市民の事故やけがの実態に関し調査するもので、本市にお住まいの65歳以上の方の中から2,000人の方を無作為に選び、調査票をお送りしております。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査主旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

※ この調査結果は、セーフコミュニティの推進に関する以外の目的では一切利用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、お願いします。

### ● 調査票の記入について

- 1 裏面のセーフコミュニティについての説明を読まれてからご回答ください。
- 2 調査対象としている方がご回答ください。（ご本人様にご回答できない場合は、ご家族の方などが、可能な範囲で聞き取り等を行いご回答ください。）
- 3 特別の注意書きがない限り、平成24年8月1日（水）現在でご回答ください。
- 4 特別の注意書きがない限り、回答欄中のあてはまる番号を○で囲んでください。また、かっこ内には適切な言葉をご記入ください。
- 5 ご回答後の調査票は、お手数ですが平成24年9月10日（月）までに、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函くださいますようお願いいたします。
- 6 本調査に関してご不明な点などございましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

お問合せ先

〒892-8677

鹿児島市山下町11-1 鹿児島市 市民局 危機管理部 安心安全課

電話216-1209 FAX226-0748



※裏面をご回答前にお読みください





	(例)	1 件目	2 件目
<b>エ 事故やけがをしたときの状況</b> ①通勤 ②仕事 ③家事（日常品の買い物を含む） ④趣味活動 ⑤ゲートボールなどのスポーツ ⑥散歩 ⑦入浴 ⑧ボランティアなどの奉仕活動 ⑨その他（ ）	⑥		
<b>オ 事故やけがをした場所</b> ①自宅（屋内）                      ⑦商業・飲食・娯楽施設 ②自宅の庭など（屋外）            ⑧職場 ③歩道・道路                          ⑨農地、林地、山 ④公園・広場                          ⑩駐車場 ⑤車・電車・バスなどの中          ⑪公共の場所（市の施設など） ⑥海・川・湖・池                      ⑫その他（ ）	③		
<b>カ 事故やけがの種類</b> ①交通事故                              ⑪ハサミなどの鋭利なものでのけが ②転倒                                    ⑫虫に刺された、動物に咬まれた ③転落                                    ⑬物の落下 ④おぼれた                              ⑭暴力（けんか）によるけが ⑤やけど（熱湯、アイロンなど）    ⑮その他（ ） ⑥異物などの誤飲 ⑦窒息（のどに食べ物をつまらせたなど） ⑧中毒（洗剤を飲み込んだ、煙を吸ったなど） ⑨ドアなどに挟まった ⑩人や物との接触	②		
<b>キ けがの状況</b> ①骨折・ひび                            ⑥刺され傷・咬まれ傷 ②ねんざ・脱臼・突き指              ⑦その他（ ） ③打撲・うちみ ④切り傷・刺し傷・すり傷 ⑤やけど	①		

	(例)	1 件目	2 件目
<b>ク 医療機関の受診</b> ①家庭・職場などの手当てで済んだ ②医療機関に1回通院した ③医療機関に2回以上通院した（している） ④医療機関に入院した（している） ⑤その他（ ）	④		
<b>ケ 未然に防ぐことができた可能性</b> ①防ぐことができた ②防ぐことはできなかった ③分からない	①		
<b>コ 薬（風邪薬、鎮痛剤など）の服用状況</b> ①薬を飲んでいて ②薬は飲んでいない	②		
<b>サ 飲酒の有無</b> ①お酒を飲んでいて ②お酒は飲んでいない	②		

問5のクで『③医療機関に2回以上通院した（している）から⑤その他』のいずれかにご回答された方にお聞きします。

問5-1 医療機関にはどのくらい入院（通院）されました（されています）か。なお、問5で、1件目と2件目のどちらも『ク 医療機関の受診』を『③医療機関に2回以上通院した（している）から⑤その他』のいずれかにご回答された場合は、入院（通院）の期間が一番長かったものをご回答ください。（ひとつに○）

※退院後、通院した（している）方は、入院及び通院の両方についてご回答ください。

- |    |             |             |        |
|----|-------------|-------------|--------|
| 入院 | ① 1か月未満     | ③ 3か月～6か月未満 | ⑤ 1年以上 |
|    | ② 1か月～3か月未満 | ④ 6か月～1年未満  |        |
| 通院 | ① 1か月未満     | ③ 3か月～6か月未満 | ⑤ 1年以上 |
|    | ② 1か月～3か月未満 | ④ 6か月～1年未満  |        |

4 家庭の安全対策に関する考え方について

問6 あなたの家庭の安全対策に関して、実践しているものをご回答ください。  
 (あてはまるものすべてに○)

	あてはまる ものすべてに ○
①濡れた手でコンセントや電気コードを触らない	
②コンセントにはたこ足配線をしない	
③ガスの使用後には元栓などを閉めたか確認する	
④就寝・外出時には戸締まりをする	
⑤薬は正しく服用している	
⑥洗剤や薬などは指定の容器に入れて保管している	
⑦階段や玄関の周りには、転倒や落下の危険性がある物を置かない	
⑧階段や廊下、浴室などに手すりを設置している	
⑨階段にすべり止めを設置している	
⑩室内や廊下などで段差解消をしている	
⑪浴室の使用後は、水気が残らないように乾燥させている	
⑫危険な道具 (はさみ、カッターなど) は決まった場所に置いている	
⑬床に物を置いたままにしない	
⑭すべりやすいスリッパなどは履かないようにしている	
⑮その他 ( )	

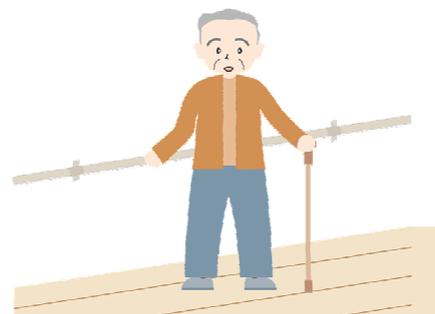
問7 防災、防犯、事故防止などに関する情報を掲載した冊子「わが家の安心安全ガイドブック」を平成24年3月に各世帯に配付しておりますがご存知ですか。(ひとつに○)

- ①知っている → [問7-1 ご回答後、問8へ](#)
- ②知らない → [問8へ](#)

問7で『①知っている』とご回答された方にお聞きします。

問7-1 「わが家の安心安全ガイドブック」を活用していますか。(ひとつに○)

- ①活用している
- ②見てはいないが、すぐ確認できるところに保管している
- ③配付されたのは知っているが、見ていない
- ④活用していない
- ⑤その他 ( )



- 問8 あなたのご家庭では、災害に備えて、東日本大震災の前はどのような対策をとっていましたか。また、東日本大震災後は新たにどのような対策をとっていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

項 目	あてはまる ものすべてに○	あてはまる ものすべてに ○
	震災前	震災後
①家具などの固定		
②非常備蓄品（食品、水、毛布など）の用意		
③非常持ち出し品（懐中電灯、ラジオ、非常食、水など）の用意		
④避難経路・避難場所の確認		
⑤消火器・バケツの用意		
⑥住宅用火災警報器の設置		
⑦防災メール(安心ネットワーク119など)などの登録		
⑧自主防災活動に参加		
⑨災害時要援護者支援制度（要援護者・支援者）に登録		
⑩建物の耐震診断、耐震補強（へいの補強など）		
⑪家族同士の安否確認の方法（場所・連絡先）		
⑫その他（ ）		

- 問9 その他、ご家庭で「事故やけが」を防止するために、工夫していることなどがありましたら、ご記入ください。

## 5 日常生活について

- 問10 あなたは、介護保険の介護認定を受けていますか。(ひとつに○)

- ①要介護1～2                      ④申請したが非該当  
 ②要介護3～5                      ⑤介護認定の申請の必要がない  
 ③要支援1～2                      ⑥その他（ ）

問 11 あなたの普段の日常生活にかかわる動作についてお聞きします。  
次の問 11-1～問 11-12 の動作について、支障なく行うことができますか。

問 11-1 一人での外出（ひとつに○）

- ①全く支障はない                      ②少し支障がある                      ③支障がある

問 11-2 室内歩行（ひとつに○）

- ①全く支障はない                      ②少し支障がある                      ③支障がある

問 11-3 トイレの利用（ひとつに○）

- ①全く支障はない                      ②少し支障がある                      ③支障がある

問 11-4 入浴（ひとつに○）

- ①全く支障はない                      ②少し支障がある                      ③支障がある

問 11-5 シャワー（ひとつに○）

- ①全く支障はない                      ②少し支障がある                      ③支障がある

問 11-6 椅子からの立ち上がり（ひとつに○）

- ①全く支障はない                      ②少し支障がある                      ③支障がある

問 11-7 布団（ベッド）からの起き上がり（ひとつに○）

- ①全く支障はない                      ②少し支障がある                      ③支障がある

問 11-8 食器棚の中の物をとる（ひとつに○）

- ①全く支障はない                      ②少し支障がある                      ③支障がある

問 11-9 床に落ちた物を拾う（ひとつに○）

- ①全く支障はない                      ②少し支障がある                      ③支障がある

問 11-10 階段を上る（ひとつに○）

- ①全く支障はない                      ②少し支障がある                      ③支障がある









自殺についてお聞きします。

問 23 あなたはこれまでに、自殺したい（死にたい）と思ったことがありますか。  
（ひとつに○）

- ①思ったことがある → 問 23-1、2、3 ご回答後、問 24 へ  
②思ったことはない → 問 24 へ

問 23 で『①思ったことがある』とご回答された方にお聞きします。（『②思ったことはない』と回答された方は問 24 へ）

問 23-1 自殺したいと思ったときの一番の原因は何ですか。（ひとつに○）

- |          |                              |
|----------|------------------------------|
| ①家庭問題    | ⑤勤務問題                        |
| ②健康問題    | ⑥孤独感・近隣関係                    |
| ③経済・生活問題 | ⑦その他（                      ） |
| ④男女問題    |                              |

問 23-2 あなたは、自殺したいと思ったときにだれか（どこか）に相談しましたか。  
（あてはまるものすべてに○）

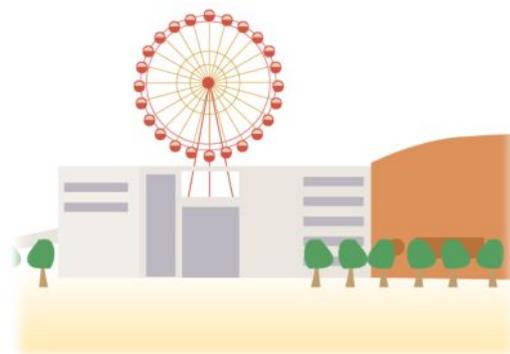
- |                     |                              |
|---------------------|------------------------------|
| ①配偶者                | ⑤職場                          |
| ②配偶者以外の家族           | ⑥相談していない                     |
| ③友人・知人              | ⑦その他（                      ） |
| ④相談機関（市役所・いのちの電話など） |                              |

問 23-3 あなたは、自殺したいと思った原因による精神的苦痛などのため、医療機関を受診したことがありますか。（ひとつに○）

- ①ある                                      ②ない

問 24 自殺に関して相談ができる場所を知っていますか。（ひとつに○）

- ①知っている                              ②知らない



問 25 自殺について知っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- ①鹿児島市では毎年約 100 人の方が自殺で亡くなっている
- ②自殺は追い込まれた末の死である
- ③自殺は防ぐことが出来る
- ④悩んでいる人はサインを発していることが多い
- ⑤自分のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関へ相談することは大切である
- ⑥身近な人のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関への相談を勧めることは大切である
- ⑦自殺の危険性がある人に相談窓口や専門家などの支援に関する情報を提供することは大切である
- ⑧考えたことがない
- ⑨その他 ( )

問 26 事故やけがの予防に関しご意見、ご感想などありましたらご記入ください。

[ ]

質問は以上です。最後までご協力頂きましてありがとうございました。  
同封の返信用封筒（切手不要）に、この調査票を入れ **9月10日（月）**までに、  
郵便ポストに投函くださいますようお願いいたします。

---

---

平成 24 年度 事故やけがなどに関する調査  
報告書

---

平成25年3月

発行 鹿児島市 市民局 危機管理部 安心安全課  
〒892-8677  
鹿児島県鹿児島市山下町11番1号  
T E L 099-216-1209  
F A X 099-226-0748

---

---